

卷之三

# 府政國帝本日大

39

四  
二

中央物價統制協力會議第六回委員會に於ける  
河田大藏大臣訓示案

一  
於 軍六  
月 五  
五  
日  
九  
於 東京商工會議所  
法曹會館

卷之三

本日茲に中央物價統制協力會議第六回委員會の開催せらるるに當り、  
一言所懐を申述ぶる機會を得ましたことは、私の洵に欣幸とする所で  
あります。

顧みまするに、支那事變も總て滿四年を迎へることとなるのであります  
が、此の間に於て歐洲の政局は意外なる發展を示し、今や支那事  
變の處理は、國際諸情勢と密接不可分なる關係に立つに至つたのであ  
ります。今後歐洲の戰局が如何に展開して行くかば、全く豫斷を許さ

# 府政國帝本日大

之を克服し得る體制を整へて、大東亞共榮圏の確立に邁進致さねばならぬのであります。我が財政經濟の運營に當りましても、斯る心構を以て臨むことが必要なのであります。當面の情況に眩惑されて一喜一憂するが如きは、絶對に之を戒めなければならぬのであります。塊下の我國財政經濟諸政策の中に於きまして、物價の問題が非常に重要な地位を占めることは申す迄もございません。物價問題が直接に國民の消費生活に影響を及ぼし、惹ては統後國民生活の維持安定に至大の關係を有するのみならず、高度國防國家建設の爲必要なる生産力擴充、從つて又國防の充實にも直接間接に影響する所洵に甚大なるものがあるのであります。而して物價の昂騰に依つて國費の膨脹を招來

# 大日本帝国憲政

# 大日本帝国通訊

のものである。かゝること十七。而して「アラモロコ」の思ひ立つて、國會の運営を監察  
する。斯くてアラモロコの委員会が直轄地内に設置された事は甚だある。  
大の開拓官事務所であるやうとせず、高級官吏の監察官の職務をも併行せし  
國會の監督主任官の運営を終到了。遂に財政委員會主官の監督官事務所の重  
要なる職位を古めのものに取て置きました。舊問題題の直轄地  
財政の財政監視官監査官の中央化を行ふ。總論の問題地當の  
一要である改訂が行はれ、新設改文がなされ云々が記載され  
以てアラモロコの委員会が成立した。前面の註記が載る小字で  
て改めてある。安地根通監督の監督官事務所の運営が小字で  
日本支那東亞共操國の確立が國會監視官改編の五條  
日本支那東亞共操國の確立が國會監視官改編の五條

することも言を俟たざる所であります、他面に於て、最近の如き巨額の豫算が執行せられることとなりましては、之に依つて物價に及ぼす影響も慎重に考慮しなければならぬのであります。御承知の如く本年度の豫算は、一般會計及臨時軍事費特別會計を合せて百二十八億圓を越えるのであります。固より此の豫算の編成に當りましては、所謂金と物との調和に充分意を須ひたのであります、之が實行に當つては更に一層此の點に留意する方針であります。併しながら、何と言つても巨額の政府資金が散布せられるのでありますから、極力此の放出せられた資金を貯蓄して浮動購買力の抑制に努めなければならぬのであります。殊に本年度に於ては約七十五億圓の公債の新規發行を豫定して居るのでありますから、之が圓滑なる消化を圖ることは、物價對

## 大日本帝国報

三二  
四三  
三四

うす御ふのケありませぬさむ地圖前ある御計を圖るゝが、國會開  
きあります。參列本邦國の體ア計議廿五萬圓の公債の還賦金を賦課  
せらるゝ資金を籌算し、各類調買代の取扱いを計画するものア  
アキシテの通銀資金を亦あらむのが本題を取る。國會開の頃出  
力費ア一掛油の額を留意せるは後ヶあり方を、指揮本題に附言で  
金を取らるの意味の本意を要筋をひきあります。始終本題實質の當てア  
考據あるのであります。固より油の燃草の問題が當り主計ア計議開  
半期の過誤封等、運賃、船員賃、船料等、治水ガ酒二十入前圓  
を還替き財庫外本題通本題計算を算定するに至ります。開本題の取扱  
本題の過誤封等をはかるるもあります。且つ本題ア計議開の頃到  
来るづらき旨を覺えある想ができます。始終本題ア計議の取扱

束の上から申しましても、極めて肝要と存ずるのであります。之が爲  
政府に於きましては、貯蓄の獎勵、消費の節約、物資及蓄金の需給調  
整等を一層徹底して參る心算で種々努力致して居る次第であります。

政府の財政經濟諸政策が圓滑に運営せられ、所期の效果を擧ぐる爲  
には、全國民の一致協力が絶對に必要なのであります。特に物價政策  
の如きは、國民の日常生活に直接結び付て居るのでありますから、是  
非共國民の一人一人が眞剣な氣持になつて協力するのでなければ、到底  
其の目的を達成することは出來ないのであります。中央物價統制協  
力會議は、我國主要經濟產業團體の殆んど凡てを網羅し、而も地方に  
於ては地方物價統制協力會議を全國に亘つて設置し、凡ての産業人が  
其の加入する團體を通して、本協力會議に參加する組織を持つて居る

## 大日本帝政

三一  
三二  
三三

# 大日本帝国勧業報

三二  
四三  
三四

三一  
三七

三四  
三一

眞の加入せる團體を申す。本勧業會社が運営する團體を續てア署する  
例アガ歌古樂團、舞團、演劇團、全團員正ア並に演員、眞アの演業人等  
は會籍封存、主要學術、商業團體の成員も其ア会員登記、而と取次ア  
眞の目録を収集する事出来ん。ケアセラセラ中央演劇團、演劇團  
非共臨場の一人一人を眞臉を察制アシテ翻訳せる。ケアセラセラ團  
の眼きか、團體の日常活動の面接部もサア置る。ケアセラセラ景  
物劇團全團員の一員として被選出せり要章のアセラセラ。吾ア演劇團  
事務局の頃、効率的運営兼收興奮の學習が最も問題の結果空舉つる眞  
運営者一員として被選出せり小真の意を表す當日ア置る大幕アセラセラ  
連保外外事事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官  
東の土木工事事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官事務官

のあります。斯る全國的な組織に依つて本協力會議が政府の物價  
政策の圓滑適正なる樹立遂行に努力せられて居られますることは、物  
價問題の本質に鑑み洵に時宜に適したものと言ふべきであります。而して、  
我國内外の事態が一日の偷安を許さざる現在の情況に於きましては、  
今後本協力會議の活動に俟つ所愈々大なるものがあります。  
須く諸君は其の使命の重大なるに顧られまして、協力一致、益々其の  
所信の貫徹に邁進し、以て國運の進展に貢獻せられんことを切望する  
次第であります。

# 大日本帝國政府